

令和3年度第2回教科用図書選定審議会 議事録（要旨）

開催日時	令和3年6月4日（金） 午後1時30分から
議 事	議事 1 一般図書専門調査員会の調査研究結果報告 2 中学校社会歴史的分野教科用図書専門調査員会の調査研究結果報告
配布資料	・令和3年度教科書調査研究報告書（案）一般図書 ・令和3年度教科書調査研究報告書（案）中学校社会歴史的分野 ・令和2年度教科書調査研究報告書 中学校社会歴史的分野

1 議事

(1) 一般図書専門調査員会の調査研究結果報告

記載内容について説明

ア 調査研究の概要

(ア) 選定の概要

(イ) 研究の観点

(ウ) 追加選定図書の内容と選定理由

(エ) 選定除外図書の説明

イ 令和4・5年度用選定一般図書

ウ 調査研究の要約

○ 意見、質問

(委員)

調査研究報告書には、学習指導要領との関係が、小学部、中学部と分けて記載されている。中学部の音楽に該当しているものが1冊、保健体育が2冊となっているが、この選択肢しかないということで、よろしいか。

(専門調査員)

音楽については、他に「文部科学省著作教科書（いわゆる「星本）」があるため、複数からの選択が可能であると考えている。

保健体育は、小学部で選定したものについて中学部での使用を検討したが、生活年齢を考慮した際に中学部には該当しないと判断したため、2冊となっている。

(委員)

外国語の追加選定図書の中に、CD付きのフラッシュカードがある。図書という範疇に入るという解釈でよろしいか。

(専門調査員)

体裁では図書とは違うが、カードは必要な内容を選び取って提示することが可能であり、追加で選定した。

前回の選定図書にもカード型のものがあったため、同じような考え方で追加した。

(委員)

除外の理由に需要数が少ないとあるが、概ね何冊を目安としたか。

(専門調査員)

基本的な考え方としては、「需要数が少ないものを除外する」ではなく、「除外対象となったものについて、需要数を確認する」とした。そのため、除外対象であっても、必要とされてきたものは、改めて除外図書とすることかどうかを検討した。需要数が少ないと表記したものについては、概ね30冊から40冊以下を判断の基準とした。

(委員)

中学部においては、外国語の選定図書がある。小学部でも外国語を学ぶ機会はあると思うが、選定図書はなくてもよいか。

(専門調査員)

関係各所にも確認をしたが、小学部は「外国語活動」であり、教科としての位置付けではないため、一般図書の選定は行わないこととした。

(2) 中学校社会歴史的分野教科用図書専門調査員会の調査研究結果報告

- ・記載内容について説明
- ・今後、採択地区において、中学校社会歴史的分野のみ、採択替えが可能になることについて説明

○ 意見、質問

意見、質問なし

2 その他教科書採択等全般に関して

(委員)

教科書は今後、デジタル化されていくのか。

(事務局)

第1回選定審議会でもお話したように、今年度、デジタル教科書実証事業を行っている。県内の約半数の学校で実証を行っている。12月頃には、児童生徒や教師に対してアンケートを実施する予定である。

教科書のデジタル化に関しては、文部科学省で有識者会議を実施している。文部科学大臣の会見では、紙のよさもあるため、検討が必要との発言もあり、県教育委員会としては推移を見守っていく。

(委員)

調査研究報告書の「組織・配列・分量」の中に、教科横断的な視点での記載がない。社会科に限らず、他の教科でも教科横断的な視点で調査研究してもらいたい。

(事務局)

昨年度、一昨年度の調査研究においては、御指摘の通り、教科横断的な視点はなかった。学習指導要領では、教科横断的に育成を目指す資質・能力も明記されていることから、今後の調査研究においては、教科横断的な視点も加えるようにする。

以上